

部活動における感染症対策に配慮した取り組みについて

日頃から、部活動に対しましてご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

さて、6月1日に学校が再開し約2か月の月日が経ちました。部活動においても、感染症対策に気をつけながら、少しずつではありますが日常を取り戻しつつあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症については、現在でも感染確認のニュースが絶えることなく続いております。

そのような中、各機関からは、学校活動や部活動を行う上での感染症予防ガイドラインが出ています。私たちの活動においても、安心してお子様をお預けいただけるように、対策に関して試行錯誤をしながら活動を維持してきました。保護者の皆様におかれましては、下記感染症対策をお読みいただき、部活動に対してのご理解とご協力を頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

○活動日について

現在8月分の練習日程をプリントで配布しております。また、ホームページにも同様の内容を反映しています。

○日々の健康観察について

現在、通学の際に検温をし、健康観察表に記入、押印の上で登校することになっています。引き続きご協力よろしくお願い致します。

○感染症対策について

以下のことを6月1日より行っております。保護者の皆様へ周知できず、ご不安なことが多々あったかと思えます。申し訳ありません。ご一読くださいますようお願い致します。

- ・演奏時以外の活動時間中はマスクを着用する。
 - ただし、屋外で人との距離が約2メートル離れている場合は熱中症対策のため外すこともある。
- ・音楽室及び各練習場所が室内になる場合は換気をする。またエアコンを併用し、室温を調整する。
- ・手洗いやうがいをこまめに実施する。
 - パートリーダーが休憩の度に手洗いうがいの指示を出し、練習時間中にある程度の回数を行う。
- ・音楽室への入室時、及び退室時は必ずアルコールで消毒する。
- ・練習する際は、個人練習を中心とするが、パート練習が必要な場合は、お互いの距離をおき行う。また、演奏時以外はマスクを着用し会話をする。
- ・金管楽器等における水を抜く際に使用する雑巾等については、ペットシート等を使い、使用後に処分する。再利用はしない。また、雑巾を使う場合は個人で使用し、都度袋に入れ持ち帰り洗濯をしてくる。
- ・マウスピースでの練習を行う場合は、飛沫が飛ぶ可能性があるため、十分に距離をおき、行うよう注意する。
- ・合奏練習が必要な場合は、可能な限り広く場所をとり練習する。

- ・不特定多数の部員が触る場所については次亜塩素酸水を使用し、定期的に消毒を行う。
→具体的には、ドアノブ、冷蔵庫の取っ手、電気やエアコンのスイッチ、机や椅子など。

○その他

- ・発熱及び風邪の症状がある場合は、無理をせずお休みするようにしてください。
- ・状況に応じて、練習日程を変更する場合があります。ご了承ください。
- ・ご家庭の事情で練習に参加できない場合は、顧問まで直接ご連絡ください。

○参考資料について

この度、活動する上でのガイドラインを作るにあたり、以下の資料を主に参考にしました。

・文部科学省

学校における新型コロナウイルス感染症 に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～

https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt_kouhou01-000007426_01.pdf

・ヤマハ株式会社

「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」

https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/index.html

・東京都交響楽団

演奏会再開への行程表と指針

<https://www.tmsso.or.jp/j/news/9064/>

・一般社団法人 日本管打・吹奏楽学会

「# コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」

～スクールバンドを中心とした吹奏楽活動における感染対策～

<http://www.jas-wind.net/pdf/20200731COVID-19musiccultureprojectschoolband.pdf>

・中川楽器

吹奏楽部のための楽器消毒におけるひとつの考察

<https://www.nakagawagakki.com/2020/06/631/>

・各県吹奏楽連盟が発行するガイドライン等

<http://aiba.cloud/guideline.pdf> (愛知県)

<http://www.ajba.or.jp/nara/pdf/guideline20200720.pdf> (奈良県)

他多数